

高取町ご意見番

代表幹事 中西宏次殿

公開質問書にお答え致します。今後とも宜しくご指導下さい。

1. 議員定数及び議員報酬について

議員定数については高取町の今の財政状況を考えると、8人と云う少ない人数でと前期の議会で決められたのでしょうが、私はこの人数は少ないと考えています。

前期の議会運営を見ていると、高取町全域の民意が議会に反映されているとは、とても思えません。私がこの度の選挙戦において強く感じたのは、大きな力が働いて仲良しグループに圧力をかけて自分の息のかかった議員を当選させようとしたりと、これが今の高取町の現状です。偏った議会にならないように十分な議論をしていくには今の8人という定数で良いのか？という事は考えなければいけないと思います。

報酬についてはいろんな考え方があると思います。私は新人議員でありますから議員としての活動は、まだしていないので詳しくは言えませんが、以前から一町民として思っていたのは、高取町は財政難ということもありますが、あまりにも少な過ぎるとそこに業社との癒着等の問題も出て来るかも知れません。定数にしても報酬にしても少ないから良いとは一概には云えないと思います。しかし定数を増やすと言うことであるなら報酬は今より少なくなっても良いと思います。そして私が最近役場に行く機会が増えて感じたのですが役場の雰囲気は暗いと思います。上を見て仕事をしているのではないかと、もっと町民目線で業務をして頂くためにも待遇面での可能な範囲での改善が必要ではないか、職員のモチベーションを上げる為にも一考するべきと考えます。

2. 産業廃棄物最終処分場建設計画について

話しを原点に戻して考えるべきである。山林や田畑の買収については、住民に架空のソーラーパネル事業をすとか、地元にお世話になったから恩返しをしたい還元したいから子供達の運動公園を造りたいだとか、買収の時点でこれだけの嘘を言って地元住民を騙したりしました。そして誠に申し訳ない事ですが、私の地元丹生谷一区の前区長が、業者側と癒着して住民の意見も聞かず独断で同意書に印鑑を捺印しました。それに県の許可も取らないでこの業者が大規模乱開発を行いました。これが信頼のおける企業のやり方とは到底とは思えないです。処分場建設予定地から住宅も近くこの処分場計画を容認することは、絶対にできません。

今までこの問題についてあまり関心が無かった先生方が多い中、今回の選挙戦を迎え私を入れても6人の先生方が反対と云って下さっている事に感謝いたします。植村町長もこれでやっとうご理解下さると思います。県の許認可だから高取町は関係ないとは、もう云わないでしゅうし云えないでしゅう。私はこれからも地元住民と高取町民の有志と共に、最終処分場建設の反対運動をしていきます。

新澤 良文 